

第7次鹿角市総合計画後期基本計画（案）及び第3期鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対する
パブリックコメントの実施結果について

第7次鹿角市総合計画後期基本計画（案）及び第3期鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について実施したパブリックコメントの結果について、次のとおり報告いたします。

貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

1. 意見募集の結果概要

意見の募集期間	令和8年2月10日（火）～3月11日（水）			
意見の提出件数	意見件数5件（2人）			
意見への対応等	分類		分類内容	件数
	修正	A	案を修正するもの	0
	既記載	B	既に案に盛り込んでいるもの	4
	参考	C	今後の参考とするもの	1
	その他	D	意見として伺ったもの	0

2. 意見の内容及び意見に対する市の考え方

	提出された意見	意見に対する市の考え方	
①	<p>経営戦略1「まちに若者と活力を呼び込む」 取組方針21「若者が活躍できるまちをつくります」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 花輪の朝市を利用して体験と学び、娯楽をしたイベントを企画してみてもどうか(クラウンマルシェが開催されているが、高校生も参加すると面白いかも) 	<ul style="list-style-type: none"> 後期基本計画では、新たに「若者イベント等開催支援事業」に取り組みます。本補助制度の目的は、大きく二点あります。 第一に、若者が「やってみたい」と思ったことに挑戦できる環境をつくることです。若者の主体的な取組を後押しし、その活動や活躍の姿を地域で共有することにより、若者自身が「鹿角市は若者が活躍できるまちだ」と実感できる環境づくりにつなげてまいります。 第二に、こうした取組の積み重ねにより、「若者が活躍できるまち・鹿角市」というイメージを市内外に形成することです。これにより、「鹿角で暮らしてみたい」「鹿角に戻ってみたい」と思うきっかけをつくり、若者の定着やUターン、移住、関係人口の創出につなげていきたいと考えております。 ご提案の花輪朝市を活用したイベントにつきましても、若者が主体的に企画・実施する取組の一つとして、今後の取組を進めるうえで参考とさせていただきながら、高校生をはじめとした若者の参画も含め、若者の活躍による地域の賑わい創出につなげてまいります。 	B
②	<p>経営戦略1「まちに若者と活力を呼び込む」 取組方針21「若者が活躍できるまちをつくります」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿角高校も秋田で一番となるスポーツ、文化を創出、支援してほしいと思います。 数年前までは陸上(特に長距離)は県内でもトップクラスでし 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿角高校は県立高校であり、これまでは県と市の役割分担のもと、市の各種計画において具体的な取組を位置付けることは行ってきませんでした。 後期基本計画では、鹿角高校のさらなる魅力向上を図るため、関係者間の意識共有を進めるとともに、目指す姿と具 	B

	<p>たが最近では他校に大きく劣っている感があります。さらに以前では吹奏楽も県内トップでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スキーは今もトップクラスですが、さらに上を目指してオリンピックで活躍してもらえそうな選手の強化支援をお願いしたいと思います。 ・ 県内、県外から優秀な生徒が入学できるような環境の整備を充実してほしいと思います。 	<p>体的な方向性を整理する「鹿角高等学校魅力化ビジョン」を策定し、地域一体となった魅力づくりを推進してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョンの策定にあたっては、スポーツや文化活動を含め、鹿角高校の特色や強みをどのように伸ばしていくのか、またそのためにどのような支援が必要であるのかについて整理していきたいと考えております。 ・ なお、本市では「スキーと駅伝のまち」の推進に資する取組として、鹿角高校のスキー部および陸上部に在籍する生徒を対象に、下宿等に係る支援を実施しております。 ・ また、ビジョンの策定に先立って、令和8年度からは、支援の対象に野球部に在籍する生徒を加えるなど、支援の充実を図ってまいります。 	
③	<p>経営戦略1「まちに若者と活力を呼び込む」 取組方針25「次世代産業の創出に取り組めます」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿角を含む県北地域は慢性的に人手不足の状況にありますが、そういう地域に新たに進出しようとする企業は少ないと思います。 ・ また、雇用が生まれないと誘致するメリットも薄いのではないでしょう。 ・ 人手不足の解消にはやはり外国人労働者を大幅に受け入れる体制を整備することが必要と思います。 ・ 外国人が安心して生活できること（住宅の提供、交通の利便性の確保など）、雇用する企業への補助、優遇措置などを検討できないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市においても、企業の人手不足への対応は重要な課題であり、外国人材の活用はその有効な方策の一つであると認識しております。 ・ 現在、市内企業が外国人材向けの社宅として活用する空き家の改修費用に対する支援を実施しているほか、後期基本計画では、特定技能人材の活用に向けた事業者向けセミナーの開催や、市内企業に勤務する外国人材を対象とした日本語教室の開催など、外国人材が安心して働き、地域に定着できる環境づくりに取り組んでまいります。 ・ あわせて、トヨタ生産方式の習得による生産性の向上や、生成AI等を活用したDX伴走支援などにより、業務効率化や省人力化を推進し、人手不足の解消に向けた取組を進めてまいります。 	B

		<ul style="list-style-type: none"> さらに、企業誘致にあたっては、雇用創出にとどまらず、若者や女性の希望職種を踏まえた誘致活動を行い、市内就職の選択肢の拡大を図ることで、若者や女性の回帰・定住の促進と地域経済の活性化につなげてまいります。 	
④	<ul style="list-style-type: none"> 誘致する企業としてはリゾート型のホテルチェーンはいかかでしょうか。八幡平地区の温泉地に富裕層をターゲットにしたホテルがあれば集客できると思います。雇用創出と税収増、市内への動線確保が期待できると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、富裕層をターゲットとした宿泊環境の整備は、本市の観光消費額の向上を図るうえで重要な要素であると認識しております。 一方で、全国的な宿泊ニーズの変化や、市内においても宿泊施設の休廃業が続いている状況を踏まえ、大規模なホテルチェーンの誘致のみに頼るのではなく、まずは既存の宿泊施設への誘客や高付加価値化に取り組むことが重要であると考えております。 なお、ご提案の「富裕層への訴求」や「市内への動線確保」といった視点につきましては、今後の観光コンテンツの開発や誘客施策を検討するうえで参考とさせていただきます。 	C
⑤	<p>経営戦略2 「世界遺産のまちを活かす」 取組方針27 文化財の保存活用に取り組みます</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿角市の歴史・文化に関する内容について、大湯環状列石など縄文時代の遺跡が大きく取り上げられている点は、鹿角市の魅力や特色を示す重要な要素であり、大変意義のあるものだと感じました。 一方で、縄文時代だけでなく、近現代の歴史、とりわけ戦争の時代に関する地域の歴史についても触れる視点があつてよいのではないかと思います。鹿角市には護国神社もあり、地域の先人たちの歴史や記憶が残されています。こうした史跡や歴 	<ul style="list-style-type: none"> 本市には、縄文時代に限らず、近現代を含む多様な歴史や文化が受け継がれており、地域の歩みを理解するうえで重要な資源であると認識しております。 歴史・文化の取組にあたっては、こうした多様な歴史資源にも目を向けながら、地域の歩みへの理解を深める取組を進めてまいります。 具体的には、昨年12月に文化庁の認定を受けた「文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財の保存と活用を推進するとともに、郷土の歴史・文化に関する学習機会や情報発信の充実に努めてまいります。 	B

<p>史も、地域の歩みを理解するうえで重要な要素の一つではないでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年は戦後 80 年という節目の年でもありました。戦争の歴史は悲しみを伴うものではありませんが、当時の人々がどのような思いで家族や地域、国を守ろうとしていたのかを知ることが、現代を生きる私たちにとっても大切な学びになると思います。 ・ また、当時の人々の記録や文章に触れると、古典や歴史、文化に対する深い理解や、公共のために尽くそうとする精神など、日本人が大切にしてきた価値観を感じることができます。こうした視点は、地域の歴史や文化を学ぶうえでも重要なものではないでしょうか。 ・ 地域社会を支えてきた家族や地域のつながり、伝統文化や先人への敬意といった価値は、これからの地域づくりにおいても大切な基盤になると思います。楽しい体験型の取り組みも重要ですが、戦争を含めた近現代史について静かに考える機会を設けることも、地域の歴史理解を深めるうえで意義があると感じます。 ・ 鹿角市の歴史・文化の取り組みの中で、縄文時代だけでなく近現代の歴史にも目を向け、地域の歩みを多面的に伝えていく視点をご検討いただければ幸いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ また、近代・現代までの地域の歴史をまとめた『鹿角市史』については、現在、その内容をデジタルアーカイブ化する事業を進めております。これにより、市外在住者や研究者のみならず、児童生徒や学生など多くの市民が郷土の歴史に触れることができる環境の整備を図ってまいります。 	
---	--	--